

〈鍵概念：社会的処方〉

ソーシャルワークとしての集団活動

そう すっぢゃ
徐 淑子*

*新潟県立看護大学

The Group Activities as Social Work

Sookja Suh*

*Niigata College of Nursing

キーワード
社会的処方 social prescribing
集団活動 group activities
ソーシャルワーク social work

I. 健康支援としての孤立防止

孤立あるいは孤独が、直接・間接に人の生活に影響を及ぼし、心理社会次元のみならず、健康という身体次元にもその効果が及ぶことは、従来のソーシャル・サポート研究などでも明らかにされてきた。ところが、近年の研究は、孤独・孤立と健康の関係はそれまでに想定されていたより広い範囲にわたることを示唆している。孤独・孤立の健康への影響に対する科学的評価の変化は、健康支援の観点から孤立防止をもっと意図的かつ積極的に行おうという考え方に結びつくであろう。その一つの現れが社会的処方（英 social prescribing）である。英国の一部地域で、すでに政策化されているという。

社会的処方とは、直接的対人相互作用の質・量の増加が見込まれるような社会活動への参加を、疾病予防の観点から患者に積極的勧奨（「処方」）し、患者を非医療的コミュニティ資源に紹介するというものである¹⁾。プライマリーケアの水準で行われる。英国での実践例では、医療制度の枠内で一般診療医 (General Practitioner) がコーディネーター (link worker や health connector などと呼ばれる) を通じて行う仕組みとなっている。患者が紹介されるのは、地域のボランティア活動や趣味のサークル、患者会や健康クラブ、自助グループなどである。

II. ソーシャルワークにおける集団活動の位置づけ

ソーシャルワークの領域では、「生活課題に取り組みウェルビーイングを高める」²⁾というソーシャルワークそれ自身の目的のために、集団的活動を重要な手段として位置づけてきた。社会的処方でも用いられる集団活動は、ソーシャルワークにおいて欠かすことのできない構成要素であり、実際、社会福祉の現場では各種の親睦会から集団療法的活動までさまざまなかたちの集団活動が取り入れられている。

社会的処方に対するソーシャルワーカーの応答という観点からは、自らが活動を組織・運営する、非専門家による活動（当事者活動など）を支援する、クライアントやそれら活動との間の連携促進をはかるなどが挙げられよう。

III. 集団活動とグループワーク、構造化の度合い

ソーシャルワークの領域では、集団活動とグループワークは、活動目的および援助技術が適用されるか否かの2点によって区別される³⁾。

ソーシャルワークとして行われるグループワークは、個人・グループの成長や安寧を図る、問題解決につなげるという目的を持って行われる。そして、その目的のために、援助技術を用いて集団の相互作用に働きかけるというプロセスが含まれる（表1）。

ソーシャルワークの領域で行われるグループワークの種類については、メンバーシップが比較的オープンで活動の枠組みが柔軟なものから（例：コミュニティセンターのミーティング等）、治療的・集団療法的で構造化の度合いが高いもの（例：エンカウンターグループやSSTグループ）まで、いくつかの種類がある。

ここで、改めて確認したいのが、図1・2にあるとおり、専門家関与の活動がすべて構造化が高いというわけではなく、また、逆に、非専門家が主導する活動の中にも目的や手段・手続きが明確化されており、構造化の度合いの高いものがあるということである。

IV. 社会的処方における非専門職資源活用の意味

社会的処方について考えるにあたって強調したいのは、この新しい方法論が患者・対象者に提供したいのは「非専門家資源」としての対人関係であることである。

対面的・対人相互作用を含む集団的活動ということであれば、社会福祉の専門家があらかじめ活動を構造化して提供する、デイケアなど既存の仕組みがあるのである。社会的処方という新規の方法でもって、公的医療という専門家資源の束に、あえて非専門家資源を導入することの意義は何であるのか。このことを、医療コストを含む医療制度への負荷低減という文脈だけでなく、「開かれた医療システム」という観点から検討することにも意義があると思わ

表1 集団活動の枠組み（構造）

- ・ 目標・目的
- ・ 対象者
- ・ 活動内容
- ・ 援助過程
- ・ 参加手続き
- ・ 記録
- ・ 評価

れる。

【引用文献】

- 1) Bickerdike L, Booth A, Wilson PM, Farley K, Wright K: Social prescribing: less rhetoric and more reality. A systematic review of the evidence, *BMJ Open*, 7:e013384, 2017 (doi:10.1136/bmjopen-2016-013384)
- 2) International Federation of Social Worker: Global Definition of Social Worker, 2014. (<https://www.ifsw.org/what-is-social-work/global-definition-of-social-work/>)
- 3) 野村武夫：はじめて学ぶグループワーク：援助のあり方とワーカーの役割，ミネルヴァ書房，東京，1999

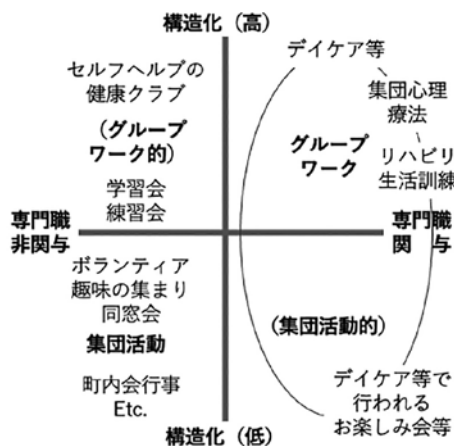


図1 集団活動とグループワークの分類（構造化・専門職関与の観点から）

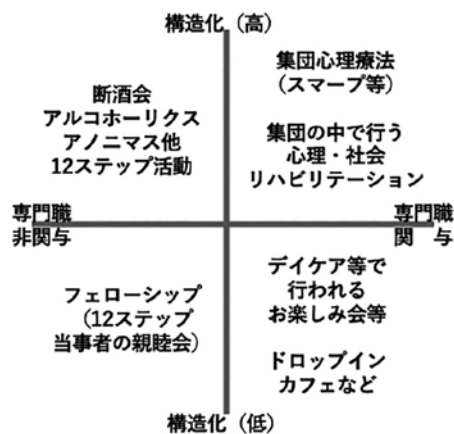


図2 依存症者支援の集団活動とグループワーク